



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年6月28日  
第13号

## 猛暑&コロナに負けず、元気に体を動かしています

梅雨はいったいどこへ・・・? と言いたくなるような連日の猛暑が続きます。皆様、体調管理は大丈夫でしょうか。

先日、体育館では1年生と6年生が合同でスポーツテストのうちシャトルランを計測していました。1年生は力いっぱい一生懸命取り組みますが、自分の記録を正確に申告することが難しいため、6年生が補助に入っていたのでしょう。上級生らしく「がんばれえ」と応援しつつ1年生を温かく見守っていました。こういう合同学習もよいものですね。そして運動の後は水分補給を十分に。熱中症に気をつけて運動しましょう。

あまりにもよい天気続きで、プールの時間が待ち遠しい子供たちです。思い切りプールを楽しみたいという子供らしい思いを大切にしながらも、安全・安心な学習となるよう気を付けています。1年生の初回は教員2人、スタディメイト2人の4人体制で子供たちを見守りながら行いました。今後時間が進むにつれて、また学年が上になるにつれて、教員が複数で対応できない場合もありますが、子供たちが2人1組の「バディ」となって互いの状態に目を配りながら学習活動を行うようにしています。

感染症の予防対策としては、更衣室の使用時間をできるだけ短く抑えることを第一に考えています。濡れた髪や水着に付いた水滴を（プールサイド上で）十分にタオルで拭き取ってから更衣室に入ること、着替えが短時間で行えるようにしています。また、更衣室内の換気もできる限り行っています。保護者の皆様にはこうした感染症対策にご理解のほどよろしくお願いいたします。

## カム・カム・エブリバディ！ 今日校長室によろこそ

校長室も目下エアコンで冷房中ですが、換気のためにと開けている隙間から、今日もチラリとのぞき込んでくる子供たちがいます。

朝ドラよろしく「カム・カム・エブリバディ」ということで、廊下側のドアが開いているときは誰でも校長室に入ってよいことになっています。2限後の大休憩や昼休み等に、「失礼します」「入っていいですか」といろいろな子が入ってきます。本を読んだり話をしたり、折り紙やパズルをしたり、短歌を作ったりと、思い思いに過ごしていきます。ただソファの座り心地を確かめていくだけの子や、練習している鍵盤ハーモニカを聴いてほしそうにやってくる子もいます。偶然同じ時間帯にやってきた子（学年も違うので、おそらく普段は会話をしないのでは?と思える子）同士が、ソファに腰掛けてそれなりに仲良く過ごしているのを見るのも面白いものです。おかげで4月以来、たくさんの子の名前を覚えられました。

校長室はもっと威厳ある場所であるべき、という考えの方もおられるかと思いますが、学校の中の居場所の一つとして、子供も大人もいざというときに「困った」「助けて」の気持ちを吐き出せる「駆け込み寺」のような場所として校長室のことを思い出してもらえれば、というのが私の思いです。もちろん、皆が思い切り元気に過ごすことができ、校長室が「開店休業」となるなら、それはそれでオーライ！です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第13号への感想

年 児童名



## 5・6年生の宿泊学習 そして学校では・・・

去る23日(木)・24日(金)は、5・6年生の宿泊学習でした。初日は富山県[立山博物館]の見学と、国立立山青少年自然の家での来拝山登山、夜はキャンドルサービス、2日目は焼き板製作、野外炊飯と、目いっぱい体験活動を予定どおり行ってきました。



実は私、この宿泊学習は引率担当ではありませんでした。しかし、帰校式での5・6年生の子供たちと引率の先生方の表情を見ると、かなり充実した2日間だったことが十分伝わりました。

さて、この2日間は留守番部隊も頑張りました。特に4年生は在校生のリーダーとして、給食の仕事や児童会(委員会)の仕事に皆で分担して取り組みました。「大変だった」「でも楽しかった」と頼もしい感想が聞かれました。

5・6年生も1～4年生も、大きなけがや病気がなく実り多い2日間となり、本当によかったです。

### シリーズ「教室におじゃまします」6/23(木)4年道徳科の巻

「今、総合の時間は環境、社会科ではゴミのことを学習しているから、ちょうどいいと思います」と平野先生がこの日示したのは、「自分たちができるエコ活動」という話でした。子供たちはさっそくノートに今日の日付を書いて準備しました。ワークシート(1時間ごとの書き込みプリント)では

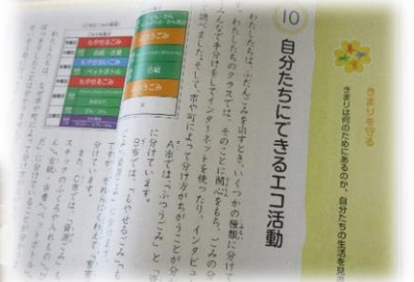
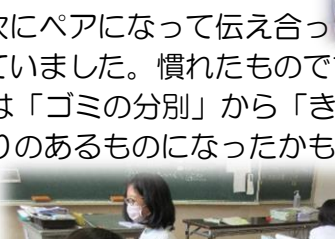
なく、道徳のノートを使うというのがいいですね。

先生が本文を読み、その後、順に問いに答えながら皆で考えていきました。

「ゴミを出すときにどんなきまりがありましたか」「ちなみに黒部市はどうですか」とここまでは社会科の学習のようでした。が、次に「分ければ資源 まぜればゴミ」清掃局の人は、いったいどんな思いでこのポスターを作ったのでしょうか。」ここで学習は一気に道徳科らしい方向へと動きました。「分別してほしいなあ」「ごみになったらもったいないなあ」といったポスターを作った人の思いを考える意見が出てきました。

最後は「今、思っていることを書きましょう。」これは道徳ノートに毎時間書いているまとめの問いのようです。各自すらすらとまとまった分量を書いていました。その後、それをまず各自で声に出し、

次にペアになって伝え合っていました。慣れたものです。立派です。内容的には「ゴミの分別」から「きまりを守る」方へと目が向くようにすれば、より深まりのあるものになったかもしれません。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第13号への感想

年 児童名